

巻 頭 言



熊本市長 大西 一史

「世界に選ばれる『上質な生活都市』 を目指して

熊本地震の発生から8年が経過し、本市は現在、復旧・復興を着実に進めております。これまで、世界中の多くの方々から励ましのお言葉や心温まるご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本市では、近年の世界情勢や日本そして本市を取り巻く様々な社会経済状況の変化に対応するとともに、熊本地震からの復興を後押しし、新たなまちづくりを進める上で必要な国際的取組を体系的に取りまとめた「熊本市国際戦略」を策定しております。

このたび、新型コロナウイルス感染症の世界的流行をはじめ、国際社会の情勢が大きく変化したこと等を踏まえ、本戦略の見直しを行い、本市の目指す国際都市の姿を「世界に選ばれる『上質な生活都市』」と定め、その実現のために、人・モノ・情報及び交流が活発となるような「戦略的な海外展開の推進」と多文化共生や人材育成など「地域国際化の推進」を基本方針の二本の柱に、様々な施策に取り組んでいます。

まず、「海外展開」については、友好姉妹都市等とのネットワークの活用や国際的枠組への参加を通じた、海外諸都市との政策連携を積極的に進めています。とりわけ、2022年4月に本市で開催した「第4回アジア・太平洋水サミット」では、アジア太平洋地域の30カ国の首脳級・閣僚級の方々のほか、国内外も含めて約5,500人が参加し、水問題に関する状況や取組を共有し、活発な議論が交わされるとともに、本市における市民や事業者の皆様、そして行政との連携・協働による広域的な地下水保全の取組を世界に発信することができました。

次に、「地域の国際化」については、近年、本市は在住外国人が増加傾向にあることに加え、台湾の大手半導体メーカーであるTSMCの熊本進出に伴い、今後ますます外国人労働者を含む在住外国人の増加が見込まれることから、生活者としての外国人支援をはじめ「多文化共生」の取組に特に力を入れています。

このような中、本市では、90年代の早い時期から熊本市国際交流会館を拠点として在住外国人への様々な支援を実施しており、行政手続や生活相談を一元的に多言語で対応する窓口を開設するなど、外国人に向けた各種支援策の充実に取り組んでおります。さらに、熊本地震の経験を踏まえ、外国人コミュニティとのネットワークを活かした平時の災害訓練や防災情報システムの構築、熊本市国際交流会館における外国人向け避難所及び災害多言語支援センターの開設など、災害時等における外国人支援を含めた、外国人の受入環境整備を積極的に進めてまいります。

本市としましては、世界に向けて本市の魅力と持続可能なまちづくりの姿を発信し、地域の活力向上と都市の持続可能な成長につなげる「海外展開」と、その土台となる多様性や創造性を育む「地域の国際化」の推進を両輪で戦略的に進め、「世界に選ばれる『上質な生活都市』」を目指してまいります。